

信用金庫という金融機関、 据野金融の役割、 地域社会に対する思い。

■すべては 地域の活力に 応えるために

急激な人口減少・超高齢化社会は、これからも逆風としてみられるが、信用金庫は特性（中小企業専門性・協同組織性・地域性）を生かして、これに立ち向かうべく、様々な取組みを行っています。

地域の経済活力の維持には、金融機関が本来の役割を全うし、地域に根ざしていくことが、唯一の原動力となります。

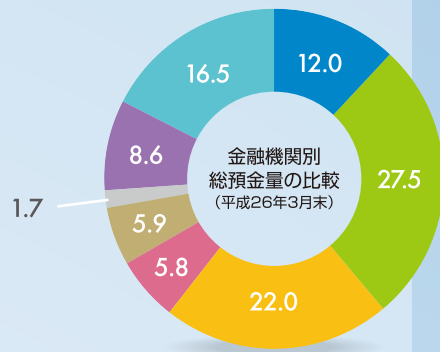
地域とのつながりを強化することを目的とした『かしの杜』という地域

貢献活動を行っています。相互扶助・非営利制度を基本理念とする信用金庫の原点をふまえ、地域社会から信頼される協同組織金融機関を目指しています。

■地域と一緒に 中小企業・小規模企業 と一緒に そして住民と一緒に

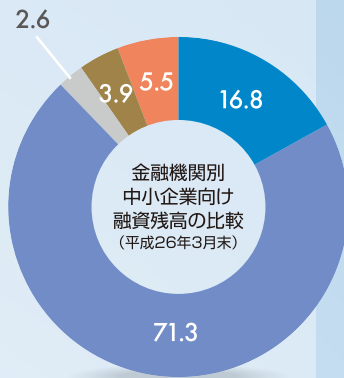
— これまでも これからも 変わりません —

信用金庫は地元の経済の活性化を願っています。地元で集めた預金は地元で融資する相互扶助をモットーとする金融の役割で「お金」と「人」を地



元で結びつける。これは今も昔も変わりません。地元のお金を地元の人へ…信用金庫は地域にどのように貢献して収益につなげていくか…

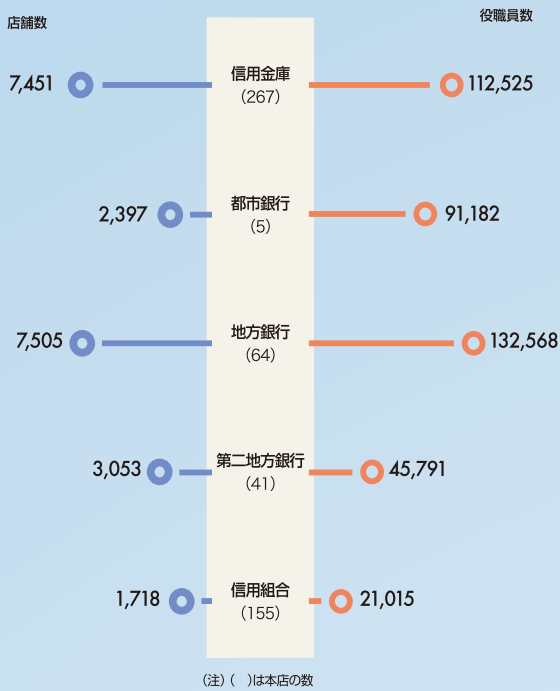
会員のみなさまに理解を得ながら、みなさんと一緒にどのように活力を上げていくか…が地域社会に対する思いです。



■これからも 相互扶助に こだわります

県外・域外金融が活発化するなかで金融機関は相応の金利を求め、一方で金利ではない付加価値の充実を図っていかねばなりません。

店舗数・従業員数の比較(平成26年3月末現在)



みなさまと近接性・親密性・信頼性を通して、相方向的なつながりを大切にして、これからも相互扶助にこだわります。

信用金庫の セントラルバンク

信用金庫には、全国にある信金の経営基盤の強化・業務機能の補完、信用力の維持・向上・市場運用力の強化などをを行う系統金融機関があります。それが信金中央金庫(信金中金)です。

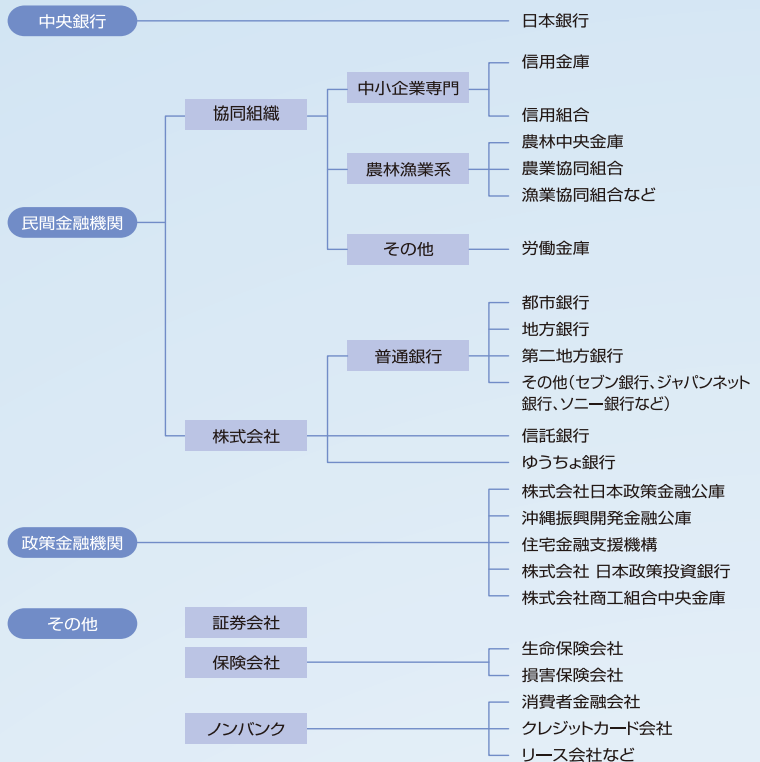
「信用金庫の中央金融機関」として

平成24年3月の総資産は31兆円を
超す日本有数の規模と効率性を有
しています。

これまでも これからも

お客さまの信頼に応えるために鹿児島信用金庫は大正11年創業以来、90数年にわたり、時代は変わり、企業もあり方、人のあり方は変わりましたが、地域金融への使命はいささかも変わりません。

この情報誌はこのコンセプトをもって
発刊します。



地域の活性化は金融機関のビジョンとも大きな関係があります。
各金融機関は「地方の創生」にさまざまな取り組みをしています。